

IV. 新町ホームきぼうの事業報告

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染状況の拡大および感染防止を第一に考え、自室で過ごしていただく等、感染対策の徹底を図りました。

方針 利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の身体および精神の状況や環境に応じて支援を行いました。また、日常生活上における入浴、排せつ又は食事の介護や相談、その他の援助を利用者のニーズに合わせながら適切に行いました。

なお、空室が生じた時は、その空室を利用して一時的に共同生活住居に入居し、自立生活の体験利用も実施しました。

1) 新町ホームきぼうの入居者への支援・指導

1. 指定共同生活援助

(1) 入居者

利用人数（令和4年3月31日現在）

指定共同生活援助（定員6名）															
新町ホームきぼう	月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	本入居	利用数	5	5	5	4	4	3	3	4	4	4	4	4	49
		利用日	94	63	95	86	63	50	65	75	87	74	77	89	918
		稼働率	52.2	33.9	52.8	46.2	33.9	27.8	34.9	41.7	46.8	39.8	45.8	47.8	42.0
	体験含	利用数	7	6	7	5	5	6	7	8	7	7	7	6	78
		利用日	110	69	113	88	65	60	120	108	110	95	101	104	1143
		稼働率	61.1	37.1	62.8	47.3	34.9	33.3	64.5	30.0	59.1	51.1	60.1	55.9	52.2

年齢（令和4年3月31日現在）

	～18	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男	0	0	1	0	2	1	0	4
女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	0	2	1	0	4

障害者総合支援法に基づく障害支援区分（令和4年3月31日現在）

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	3	0	0	4
女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	3	0	0	4

市町村別（令和4年3月31日現在）

小牧市 4名

(2) 職員 20名（令和4年3月31日現在）

管理者1名、サービス管理責任者1名、世話人4名、生活支援員17名 ※兼務職員数を含む

2. 支援・指導

＜豊かな生活から自立に向かう＞

一人ひとりの障がい状況に応じて日常生活支援を行い、生活の中において個々の希望にあった自己選択や意思決定が行えるよう支援をしました。また、自主性を育てるとともに、仲間との協調性や責任感を身につけるよう、また、精神的、経済的に自立に向かっていけるよう支援に努めました。

地域や家庭との結びつきを大切に、安心・安全な生活の提供と利用者に寄り添った支援に努めました。

- (1) 日常生活支援
 - ・対人関係を考慮しつつ、利用者同士が互いに仲間を大切にするよう支援・指導を行いました。
 - ・日常生活面における相談や食事、入浴、排せつ、調理、買い物等の基本的な生活の介護や支援と身の整理整頓等への支援を行いました。
- (2) 余暇支援
 - ・新型コロナにより様々な催し物（行事や外食等）の提供がしにくい状況でしたが、誕生日会等のささやかな企画により、生活の中の楽しみとなるよう支援・指導を行いました。
- (3) 健康管理支援
 - ・健康状況などを把握し、疾病予防、健康管理に努めました。家族や日中活動の事業所との連携を密にし、利用者の体調の変化に応じて迅速な対応に努めました。
- (4) 個別支援計画の作成
 - ・利用者の状況やニーズに応じた適切なサービスを提供するため、アセスメントを実施し個別支援計画を作成しました。作成された支援計画を実施しながら、モニタリングを行いました。
- (5) 災害時および緊急時への対応
 - ・非常災害対策計画や消防計画に基づき、安心・安全な生活を送れるよう家族や地域、関係機関との連絡体制を整え、帰宅後や就寝時間に防災訓練を行いました。
 - ・利用者の呼出し等速やかに対応できるよう常時連絡できる体制を確保しました。
- (6) 嗜好調査
 - ・食事等についての意見や要望を聞き取り、バランスのとれた食事等に配慮しました。
- (7) 地域との交流
 - ・地域や地域住民の理解促進のために地域自治会に加入し、地域の一員として積極的にあいさつをして交流に努めました。
- (8) 体験利用
 - ・入居に向けた共同生活援助の体験の場を提供し、自立生活に向けた支援をしました。

3. 職員研修

職員の資質向上、専門知識の修得等

外部研修	普通救命講習会（年4回、延4名）
研修報告	特になし
内部研修	日常事例から兼務職員による直接的な支援・対応の仕方の助言 年度末研修会（年1回、5名） ・ハラスメント防止研修 ・「障害者虐待防止法の理解と対応」

4. 行事等の活動

月	日	行 事 等 の 内 容
4	1	防災教育（役割確認）
8	20	消防設備点検
11	26	AED機種入れ替え
12	29～1/4	年末年始帰省
2	25	消防設備点検
3	24	防災訓練（夜間）
	28	防災訓練（避難経路確認）

※該当者がいる月に誕生会やクリスマス会等を実施

※個別懇談会（モニタリング等）を実施

5. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人数
見学	7/20	社会福祉士実習生	1名
見学	8/19	社会福祉士実習生	2名
見学	10/18	社会福祉士実習生	1名

6. ボランティアの受け入れ

特になし

7. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8. 公益的な取り組み

特になし

9. 施設整備（設備整備）関係

特になし